

## 新型コロナウイルス対策に関する 要望書を区長に提出

1月22日、党区議団は9回目となる「新型コロナウイルスに関する要望書」を提出しました。

①区民のいのちと健康、不安に応えられる相談、検査体制について

②区民の暮らし、営業の支援について  
新型コロナウイルスの爆発的感染拡大が続き、事態は深刻です。病院や保護施設の受け入れが困難となり、感染をしても入院調整中や自宅待機者が増えており、重篤化するという事態が発生しており、医療の対策が待たなしで求められています。

新型コロナウイルス感染抑止のカギは社会的検査・PCR検査の抜本的拡充です。区でも介護・障害者施設職員などを対象とした社会的検査に踏み出しましたが、実際はまだまだ検査が進んでおらず、対策の抜本的強化が求められています。

また、緊急事態宣言のもとで都は、1月8日～2月7日まで、飲食店での時間短縮を求め、一日当たり6万円の協力を支給することになり、区でも独自に10万円の上乗せを実施することになっていますが、実態に見合った補償とはなっていません。安心して休業ができるように「自粛と補償は一体」が改めて問われています。

コロナ禍から区民のいのちと暮らしを守るために全力で頑張ります。



申し入れをする区議団、左側木村ひでこ

## 緊急小口資金、申し込み・返済期間延長

社会福祉協議会では、新型コロナウイルスの影響を受け、収入の減少や失業などにより生活の維持が困難となっている方に対して緊急小口資金の貸し付けを行っています。

この貸付は、申込期限が今年3月末まで延長されるのと同時に、返済は来年3月末日まで延長することとなりました。

## 町会・自治会に対し、 感染拡大防止普及啓発を支援

都は地域から感染拡大防止を図っていくため、町会・自治会が主催して行なう感染拡大防止普及啓発事業に必要な経費を助成します。

助成限度額30万円を1団体につき1回のみ、申請は、都生活文化局地域活動推進課

031538813166 2月24日17時  
必着、郵送で申し込みます。

新型コロナウイルスの爆発的感染が続いています。感染防止対策や暮らしのこと、営業のことなどでお困りのこと、ご心配なことがありましたら、どんなことでも、ご相談下さい。

日本共産党葛飾区議会議員団

きむら



木村ひでこ

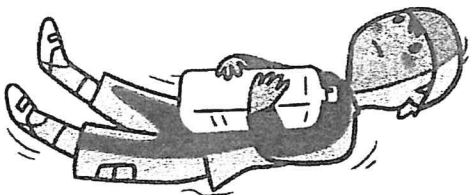
事務所 葛飾区青戸5-27-5 2021年  
Tel:03-3690-8631 携帯090-8640-5378 2月号

生活・法律相談  
毎月第一水曜日 18:30～ 木村ひでこ事務所にて  
木村ひでこ事務所若しくは携帯にお電話下さい。

## 学校プール全廃

「問題があれば後で考える」と無責任な答弁

1月22日区議会文教委員会で、学校プール全廃方針を改めて示しました。区の「学校の改築に向けた指針」や「長寿命化計画」には、学校施設は教育施設のみならず、生涯学習、文化・スポーツ、災害時の避難場所など地域コミュニティの核をなすものとあり、教育、子ども、地域住民の意見聞き、進めなければなりません。ところがそうした取り組みはありません。民間プールのスケジュールに合わせるなど、たくさんの課題があります。が、区は問題があれば「後から考える」と無責任な答弁を繰り返しました。水泳指導は屋外温水プールが適しているというなら、今後の学校改築の際、廃止ではなく、温水プールを設置すべきです。



※着衣泳とは：もしも、水に落ちた時、シャツに空気を入れたり、ペットボトルを利用して楽に浮くことができたり、いざという時に長く、安全にどう身を守るのが重要です。浮き身といって脱力して水の中で上手に浮きながら助けを待つという命を守る水泳です。服を着て訓練をしなければいざという時には命にかかります。

## 未就学児の国保料均等割を5割軽減

12月23日に開催された国の社会保障審議会医療保険部会で、2022年度から、すべての未就学児国民健康保険料の均等割について公費を投入し、現行から5割軽減することを明らかにしました。

今回の医療保険部会の言及は、高すぎる国保料のもと、軽減される対象が限定されるなど十分とは言えませんが、この間の国民の声と運動によって示されたものです。

一刻も早く実施するよう求めています。

## 来年度から5年かけて 小学校全学年35人学級へ



政府は、公立小学校の1学級の人数を2025年度までに全学年35人以下に引き下げることを決め、来年の通常国会に改正案を提出するとしています。

新型コロナウイルスの拡大を機に、かつてなく高まった少人数学級を求める国民の声と運動が国を動かしました。

改正案は、来年度から5年間かけて毎年1学年ずつ35人学級に移行させるというもので、スピードも遅く不十分です。

中学校や高校にも広げ、一刻も早く30人学級を実現しましょう。

《現在、学級編成は40人、小1のみ35人、東京都は、小2、中1についても35人学級を適用しています。》